



90th
Anniversary

学校通信

令和4年度 第12号

令和5年 3月20日

練馬区立開進第三小学校

校長 岡部 良美

「開三小の子供たちが、育て、育ち、受け継ぐ姿」



校長 岡部 良美

今週をもって開校90周年の教育活動が終了となります。一年間の本校の教育活動への保護者・地域の皆様による協働に、心より感謝いたします。

本日は今年度最後の全校朝会（月曜朝会）となりました。看護当番の教員の合図で、全校児童が校庭に整然と整列し、今の学年の仕上げとしての週始まりにふさわしい姿と雰囲気がありました。

会の始まりに行う6年生の開始の言葉では、今週の代表児童が全校に向けて、1年間の生活目標の基盤である『3つのあ（あいさつ・あつまり・あるきかた）』について、最高学年として全校の子供たちの到達状況を伝えるとともに、あと3日間で全校児童が取り組むべき行動を具体的な目標として伝えていました。最高学年としての誇りと自信に加え、全校に具体的に伝えることができる確かな表現力の育ちを感じました。

さらに、今月の生活目標の振り返りでは、5年生代表が、感謝の気持ちをもって行動したこと、『3つのあ』の『あるきかた』の大切さについて発表しました。6年生からていねいに引き継がれている過程での関わりへの感謝、4月から6年生になったら1年生に感謝の気持ちをもつことの大切さと『3つのあ』を伝えていきたいという思いを話していました。最高学年への決意と期待が伝わるものでした。

小学校6年間、6つの年齢差は、子供の成長に様々な場面で相乗効果をもたらしています。3月10日の6年生を送る会では、1年生から5年生までの子供たちが、劇、呼びかけ、歌、クイズ、ダンスなど、それぞれ工夫を凝らして感謝の気持ちを6年生に伝えていました。1年生の6年生への言葉、『だいだいだいだい大好き』の瞬間に、126名の6年生から笑みがこぼれ、お互いの心が一つになっていることが伝わってきました。さらに、そのあと行われた鼓笛引継ぎの会では、46代鼓笛（6年）と47代鼓笛（5年）の引継ぎが、全校児童が見守る中、厳粛に、そして子供らしく行われました。見守る1年生、2年生、3年生、4年生が食い入るようにその様子を見ており、一体感の中、伝統の重みだけでなく、伝統が育てる力が表れていました。子供たちが受け継ぎ、引き継いでいく開三小のよさを実感しました。今週、修了式、卒業式を行います。今年度の子供たちのよさを仕上げてまいります。

<ご連絡> 教員の人事異動に関する報道発表日の変更について

東京都教育委員会は、例年4月1日に教員の人事異動について報道発表を行っていましたが、令和5年はテレビ・ラジオ等で3月20日（月）17時以降、新聞で3月21日（火）に発表することとしました。

つきましては、本校では、3月23日（木）の修了式において、子供たちへ転出・退職する教員の紹介をします。